

Uji 健歩会 会報 100 号発行記念に寄せて

Nantan 健歩会 会長 山村善彦

Uji 健歩会 会報 100 号発行、おめでとうございます。

Uji 健歩会とは、11 年間の交流となります。私共 Nantan 健歩会が産声をあげたときには、すでに Uji 健歩会は健康ウォーキングの会として、黒澤会長のもと組織も充実されご活躍されていました。

池本先生のお引きあわせで、交流会をもつことが出来ました。

第一回の交流会では、宇治駅でのお出迎えを受け、市役所での開会式、ウォーミングアップと統制された行動をみて、これこそ私共の会のこれからの進む道と、こころをワクワクさせました。そして、ウォーキングに出発、食事の後の初めての会議において、会運営の一から手ほどきを受けました貴会から会報をいただき、月間の行事予定に平日の午前中の実施時間が書かれているのを見て、また、その充実した内容の予定にもうらやましく感じました。

Nantan 健歩会は、平日の例会等は現在も実現不可能なのが現状です。

私共では、例会や打ち合わせ役員会は、夜間に行っています。また、下見や行事も週末におこなっており、限られた範囲の活動になってしまっています。

貴会の組織化された活動を行うには、まだまだ多くの勉強と経験が必要です。

今後ともご指導の程、よろしく申し上げます。

貴会の毎月発行される会報による情報伝達は、会員様個人の意気向上に大変役立っていると思います。ウォーキングマップ作成会議、例会予定、実施されたコース案内等々楽しく拝読させていただいております。

両会の会員の絆がますます深まるよう、そして健歩会が継続発展するために、お互いに協力していきたいと思っております。ご支援よろしく申し上げます。

最後になりましたが、Uji 健歩会会報が、150 号・200 号に向かって継続され、躍進されることを願っております。

会報創刊 100 号によせて

元事務局会報担当 大川一夫

創刊 100 号おめでとうございます。私も 12 号より 57 号まで編集業務に携わっていましたが、平成 24 年 3 月体調不良のため退会しました。今でも会報はホームページで拝見さしてもらっております。

最近、体調不良の一つを解消の為、心臓ペースメーカー取り付けの手術をし、入院しました。

入院は 20 年ぶり、同じ病院で同じ病室でした。大部屋は、以前 8 人今は 6 人の部屋になっていましたが、以前は間仕切りのカーテンもあまり閉じず、入院患者どうしが話、情報交換が気楽に出来ていましたが今では皆さんカーテンを閉じてしまって話はあまりしなくなっているようです。

いまの世の中、人と人とのつながりが少なくなっているように感じました。

健歩会では会報により情報の共有、交換また親睦を深めることにより人と人との絆を大切にしていきたいものですね。